

# はしがき

## ■ 編集の趣旨

巷間をにぎわした、改訂「学習指導要領」による新教科書で学ぶ高校生・受験生用として、期待される発展学習に応えるべく、小社では新しい『発展30日完成シリーズ』を企画し、順次刊行してまいります。

編集にあたっては、小社薄物シリーズの長所はすべて採り入れ、良問の精選と、詳しく述べてもわかる解答を心掛けました。

本書は、このシリーズの一冊として、姉妹編『漢文 高校初級用』の後を受けて、前半には漢文読解に必要な句法の復習を收め、後半には読解力を身に付けるための長文応用問題を置き、あわせて漢文の総合的な学力を養うことを目標として作成しました。漢文の基本を復習し、さらに実力を高めようと考へて作成した二年生以上を主な対象としましたが、受験生にも十分役立つ内容です。

## ■ 本書の特長

1 句法については復習に重点を置き、基本的なものを精選して取り上げました。否定の形、疑問・反語の形については『高校初級用』同様、ページ数を増やし、十分学習できるようにしました。

2 「今日の学習」には、それぞれの学習のテーマに必要な知識を、簡潔に見やすく、わかりやすくまとめました。句法の復習に十分役立ててください。

3 問題文本文（漢文）は、「今日の学習」に対応する文を、主として大学入学試験の問題文の中から選びました。『高校初級用』

よりやや難しい文に挑戦してください。

4 読問は、漢文学習において最も基本となる書き下しと口語訳を中心としました。また、解答欄を設け、解答が直接書き込めるようになります。

5 後半の長文応用問題では、句法の学習を確認し、読解力を身に付けるために、主として大学入学試験の問題文の中から長文の問題を取り上げました。また、漢文の基本的な思想を押さえるために、思想家の文章を多く収録しました。

6 別冊解答書には、自学自習する中で十分理解が行き届くよう、解答の他に、解説を充実させました。

● 「解答の解説」では、自力で解答し、自己採点する時の参考になる知識を補足し、説明を加えました。問題文の書き下し文や口語訳も、この解説の中に収めました。

● 「今日の学習の解説」では、学習のポイントを補足し、より深く理解できるようにしました。

本書を選んだ皆さん、本書を毎日30分、30日間じっくり勉強して、漢文の読解力をしっかりと身に付けてください。

編著者

## 《目 次》

第1日 返り点・送りがな・書き下し文	4
第2日 置き字・返読文字	6
第3日 再読文字	8
第4日 漢文の構造	10
第5日 使役の形・受身の形	12
第6日 抑揚の形・比較選択の形	14
第7日 限定の形・累加の形	16
第8日 仮定の形・推量の形	18
第9日 願望の形・詠嘆の形	20
第10日 否定の形・禁止の形	22
第11日 否定の表現	24
第12日 二重否定の形	26
第13日 部分否定の形	28
第14日 疑問・反語に共通する形(1)	30
第15日 疑問・反語に共通する形(2)	32
第16日 疑問を主とする形・反語を主とする形	34
第17日 『右台仙館筆記』	36
第18日 『就任北京大学校長之演説』	38
第19日 『劉孟涂集』	40
第20日 『論語』	42
第21日 『老子』	44
第22日 『孟子』	46
第23日 『荀子』	48
第24日 『韓非子』	50
第25日 『墨子』	52
第26日 『戰國策』	54
第27日 『対禹問』	56
第28日 『春秋論』	58
第29日 『呂氏春秋』	60
第30日 『呉子』	62

# 返り点・送りがな・書き下し文

1

返り点に従って読む順に□に番号を入れなさい。

月	日	曜日							
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
レ点	二点	上点	点	上七点	甲乙点	天地点	熟語棒	甲乙丙丁点	用いる。
〔2〕〔1〕	〔5〕〔1〕	〔7〕〔1〕	〔4〕〔1〕	〔6〕〔1〕	〔9〕〔1〕	〔9〕〔7〕〔5〕〔3〕〔1〕	〔2〕〔3〕〔1〕	〔8〕〔1〕	〔6〕〔3〕〔1〕
レ点	二点	上点	点	上七点	甲乙点	天地点	熟語棒	甲乙丙丁点	用いる。
〔2〕〔1〕	〔5〕〔1〕	〔7〕〔1〕	〔4〕〔1〕	〔6〕〔1〕	〔9〕〔7〕〔5〕〔3〕〔1〕	〔9〕〔7〕〔5〕〔3〕〔1〕	〔2〕〔3〕〔1〕	〔8〕〔1〕	〔6〕〔3〕〔1〕

今日の学習

1 日

2

内	の	繙写	の	通り	に	なる	よ	う	に	返り	点
〔1〕	〔2〕	〔3〕	〔4〕	〔5〕	〔6〕	〔7〕	〔8〕	〔9〕	〔10〕	〔1〕	〔2〕
下	□	二	□	一	□	二	□	一	□	五	〔1〕
〔1〕	〔2〕	〔3〕	〔4〕	〔5〕	〔6〕	〔7〕	〔8〕	〔9〕	〔10〕	〔1〕	〔2〕
下	□	二	□	一	□	二	□	一	□	五	〔1〕

□内の繙写の通りになるように返り点をつけなさい。

返り点	二点	上点	点	上七点	甲乙点	天地点	熟語棒	甲乙丙丁点	用いる。
〔2〕〔1〕	〔5〕〔1〕	〔7〕〔1〕	〔4〕〔1〕	〔6〕〔1〕	〔9〕〔7〕〔5〕〔3〕〔1〕	〔9〕〔7〕〔5〕〔3〕〔1〕	〔2〕〔3〕〔1〕	〔8〕〔1〕	〔6〕〔3〕〔1〕
返り点	二点	上点	点	上七点	甲乙点	天地点	熟語棒	甲乙丙丁点	用いる。
〔2〕〔1〕	〔5〕〔1〕	〔7〕〔1〕	〔4〕〔1〕	〔6〕〔1〕	〔9〕〔7〕〔5〕〔3〕〔1〕	〔9〕〔7〕〔5〕〔3〕〔1〕	〔2〕〔3〕〔1〕	〔8〕〔1〕	〔6〕〔3〕〔1〕

□内の繙写の通りになるように返り点をつけなさい。

□ 送りがな  
歴史的ながなによるかたかなを用い、文語文法に従い、漢字の右下に小さく書く。

□ 書き下し文

① 送りがなはひらがなに直す。  
② 助詞・助動詞はひらがなに直す。  
③ 置き字（第2日）は書かない。  
④ 再読文字（第3日）は、初めに読む時は

□ 書き下し文

① 送りがなはひらがなに直す。  
② 助詞・助動詞はひらがなに直す。  
③ 置き字（第2日）は書かない。  
④ 再読文字（第3日）は、初めに読む時は

○ 次の漢文を書き下し文に改めなさい。  
 (6) 君不如借之道、示以不得已也。君之に道を借して、示すに已むを得ざるを以てするに如かざるなり。  
 ○ 次の漢文を書き下し文に改めなさい。  
 (1) 忽言、欲与阿智一婚。〔セント〕  
 (2) 足下不欲破袁氏邪。〔ラントあん〕  
 (3) 欲下遇神聖之君、得行其道。〔セント〕

○ 次の漢文を書き下し文に改めなさい。

(4) 各以絶句相報答之。

○ 次の漢文を書き下し文に改めなさい。  
 (5) 初不以家産有無介意。○ 初め家産の有無を以て意に介さず。

○ 次の漢文を書き下し文に改めなさい。  
 (6) 公知獄訟之不正、故与之耳。○ 公知獄訟之不正、故與之耳。

○ 次の漢文を書き下し文に改めなさい。

(4) 不可執守前言令其挫失時節甲也。

○ 次の漢文を書き下し文に改めなさい。  
 (5) 不害其卒為大賢者、為其能改也。○ 不害其卒為大賢者、為其能改也。

○ 次の漢文を書き下し文に改めなさい。

(6) 愛天下者、有如君之愛身者乎。

○ 次の漢文を書き下し文に改めなさい。  
 (5) 不害其卒為大賢者、為其能改也。○ 不害其卒為大賢者、為其能改也。

○ 次の漢文を書き下し文に改めなさい。

(6) 愛天下者、有如君之愛身者乎。

漢字で、二度目に読む時はひらがなで書く。  
 ⑤ 会話文「」の文は、最後の「ト」を「」の外に書く。  
 圖曰不可。↓曰はく、「不可なり」と。  
 ↓句読点などの記号は原文の通りに書く。

○ 助詞にある語

者(は)

之(の)

与(と)

自・從・由・与(より)

乎・邪・耶・也・与・哉・矣(や・か)

哉・夫也歟・乎哉(かな)

耳・爾・而已・而已矣(のみ)

○ 助動詞にある語

見・被(る・らる)

使・令・教(しむ)

可(べし)

如・若(ごとし)

為(たり)

為・也(なり)

不・弗(はず)

○ 次の漢文を、太字の文字に注意して書き下し文に改めなさい。

(1) 忽言、欲与阿智一婚。

(2) 足下不欲破袁氏邪。

(3) 欲下遇神聖之君、得行其道。

(4) 不可執守前言令其挫失時節甲也。

(5) 不害其卒為大賢者、為其能改也。

(6) 愛天下者、有如君之愛身者乎。